

I 研究主題と構想

1 研究主題

自ら学び、考えを伝え合う児童を育成する国語科の授業づくり

～説明的文章を通して～

2 研究主題設定の理由

昨年度末、児童の実態把握アンケートを行った。その結果、児童は国語科の学習が好きで物語の授業も説明文の授業もよく分かると回答していた。一方で、「自ら進んで学習に取り組んでいる」と「国語が得意である」という項目においては、肯定的な回答の割合が低くなっていた。このことから、教師による分かりやすい授業が行えている一方で、児童は学びに対して受動的になっており、自分の自信につながっていないと考えた。そこで、研究主題を上記のように設定し、国語科の授業づくりについて説明的文章を中心に研究仮説に基づいた授業実践を行うことで、本校の国語科教育の向上を図りたいと考え、本研究主題を設定した。

3 研究仮説

研究主題に迫るために、仮説を3つ立てた。まず、「児童が主体的に教材に関わるための工夫」である。教材との出会い方や自己決定場面を工夫することで、児童は自らが学習の主体であると意識しながら学習に取り組むことができるようになるのではないかと考えた。次に「言葉に着目して自分の考えをもつための工夫」である。教材や学習課題に主体的に関わろうと活動を始めた児童は、自力解決によって本文の言葉を根拠に出された互いの考えを工夫して交流することで、学び合う楽しさを味わうことができるのではないかと考えた。最後に「読みを深めるための工夫」である。児童が十分にそれぞれの考えを議論した上で、読みを深める発問を子どもたちに投げかけることで、筆者の論や表現の工夫などについて読みを深め、自らの学び方のよさを感じ取ることができるのではないかと考えた。これら3つの仮説について、授業実践を通して検証していきたい。

4 めざす子ども像

低学年	中学年	高学年
「問い」と「答え」、「順序」、「因果関係」、「比較」などの言葉に着目し、内容の大体を捉えて自分の考えをもち、伝える子ども	「類別」、「具体と抽象」、「文と文の関係」などの言葉に着目し、筆者の主張とそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えて、自分の考えをもち、進んで伝え合う子ども	「関係性」、「具体と抽象」、「解釈や評価」などの言葉に着目し、事実と感想、意見などとの関係について叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、自分の考えをもち、深め合う子ども

5 研究の重点

(1) 授業研究の取組

- 国語科における授業づくり
 - ① 児童が主体的に教材に関わるための工夫
 - ② 言葉に着目して自分の考えをもつための工夫
 - ③ 読みを深めるための工夫

(2) 学習環境の取組

- 「国語の力」の掲示
- 学習アンケート

6 研究構想図

学校教育目標

豊かな心とたくましい実践力をもった自主的創造的な子どもの育成

- ☆ よい子
- ☆ つよい子
- ☆ やさしい子

研究主題

自ら学び、考えを伝え合う児童を育成する国語科の授業づくり
～説明的文章を通して～

めざす子ども像

低学年	中学年	高学年
「問い」と「答え」、「順序」、「因果関係」、「比較」などの言葉に着目し、内容の大体を捉えて自分の考えをもち、伝える子ども	「類別」、「具体と抽象」、「文と文の関係」などの言葉に着目し、筆者の主張とそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えて、自分の考えをもち、進んで伝え合う子ども	「関係性」、「具体と抽象」、「解釈や評価」などの言葉に着目し、事実と感想、意見などとの関係について叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、自分の考えをもち、深め合う子ども

国語科における授業づくり

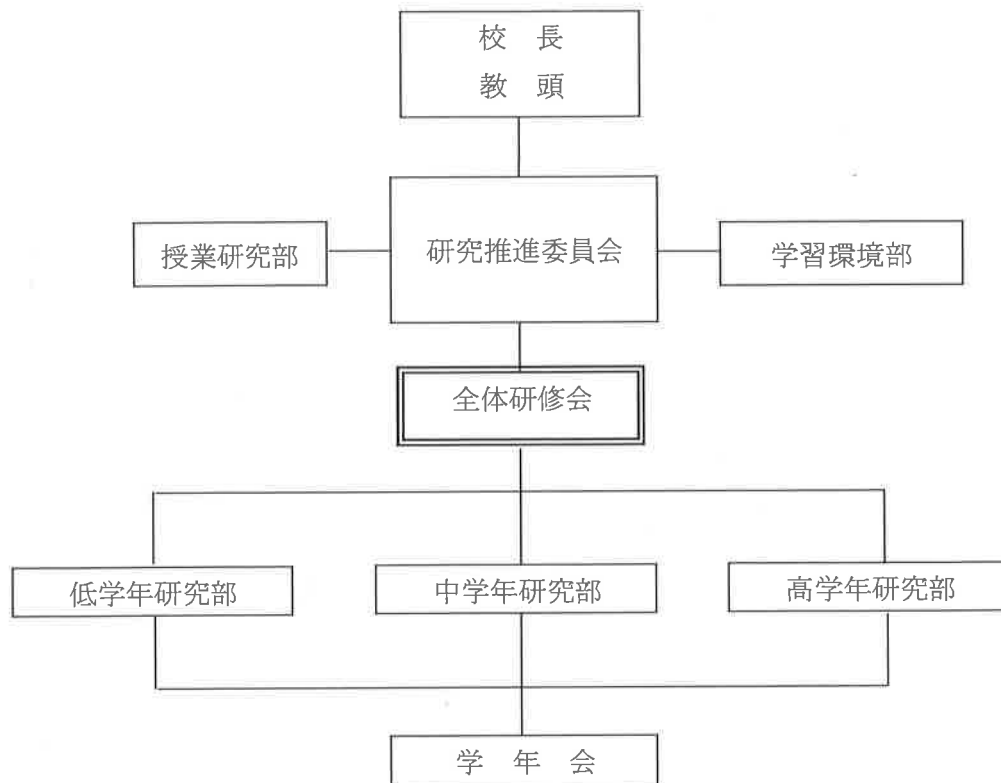
- 児童が主体的に教材に関わるための工夫
- 言葉に着目して自分の考えをもつための工夫
- 読みを深めるための工夫

授業を豊かにするための環境づくり

- 国語の力の掲示
- 学習アンケートの活用
- ・・・など

7 研究組織

研究主題に迫るため、次の組織により研究を推進する。



- ① 研究推進委員会は、校長・教頭・教務主任・研究主任・学年推進委員で構成し、研究推進についての企画にあたる。ただし、研究主任は、学年推進委員を兼ねることができる。
- ② 全員が低学年研究部・中学年研究部・高学年研究部のいずれかの部に所属する。
- ③ 研究推進委員会で話し合ったことは、全体場で共通理解、意思統一をする。それを受けて各学年では学年や学級の発達段階や実態を踏まえながら実践をする。また、各学年で話し合ったことは、研究推進委員会に反映させていく。
- ④ 月初めの終礼で、研究についての取組について発表する時間を設ける。各学年、3分程度で、先月の取組の振り返りとその月の授業について簡単に展望を知らせる。